市のバランスシートを公表します

13年度 普通会計 市の資産は387億3,748万円

資産と負債の状況が明らかに

市では、新たな視点から財政状況を分かりやすく表す「バランスシート（貸借対照表）」を作成しました。このバランスシートは、平成十三年度末現在の普通会計を対象に総務省の基準に沿って作成したものです。通常、市の決算では一年間ごとの収入と支出の状況を示していますが、これでは、市にいくらの資産があって、いくらの負債があるのか、今までの投資によって生み出された財産と返済すべき負債などの内容は分かりませんでした。しかし、バランスシートでは、収支バランスが一目で分かるよう示しています。市ではこれを今後の財政運営などに役立てていきます。

バランスシートは、平成十三年度の普通会計決算を対象に昭和四十四年度以降の決算統計のデータを用い作成しています。

資産では、市内の道路、学校、公民館、土地などの有形固定資産は、三百三十一億百九十六万九千円となっています。また、関係団体への出資や基金など投資は、四十一億八千七百四十五万六千円です。

さらに、現金や預金などの流動資産を合わせると、資産の合計は三百八十七億三千七百四十八万七千円となっています。

一方、負債では、将来返済しなければならない地方債残高のほか、退職給与引当金などの負債総額は百六十四億六千三百十八万二千円です。なお、第三セクターなどへの損失補償などは偶発債務に相当するものとして欄外注記しています。

正味資産は、資産合計から負債合計を差し引いたもので、現在までの世代が既に負担して形成してきた正味価値といえるものです。

この内訳は、資産形成の財源となった国・県支出金、一般財源などで、合計二百二十二億七千四百三十万五千円となっています。

市民1人あたり資産は127万9千円 負債は54万4千円に

資産を市民一人あたりに換算すると、百二十七万九千円で、負債は五十四万四千円、正味資産は七十三万五千円となります（人口三万二百八十五人・平成十四年三月三十一日現在）。

社会資本整備の結果を示す有形固定資産を目的別に分けてみると、教育費や土木費、農林水産業費などの割合が七割近くを占めます。

これは、昭和四十六年の市制施行をきっかけとして年次計画で小・中学校や公民館、道路、都市下水路、公園といった市民の生活基盤づくりをはじめ、ほ場や漁港など産業基盤の整備に力を入れてきたことによるものです。

また、バランスシートからは、有形固定資産のうち正味資産による整備の割合、すなわち、これまでの世代によって既に負担された社会資本の割合は五〇・三％〔（正味資産－投資等－流動資産）÷有形固定資産〕、また、有形固定資産に対する負債の占める割合、すなわち、将来の世代による社会資本の負担割合は四一・二％〔（地方債残高＋債務負担行為額）÷有形固定資産〕ということが分かります。

より分かりやすい行政に

なお、バランスシートを用いた企業的な会計手法は、全国の市町村でも、その作成方法や分析方法などについて研究中のところが多く、試行錯誤の段階です。

また、作成や公表をしていない所も多く、他市との比較ができない状況です。

市では、今後も行政コスト計算書の作成や水道事業などの企業会計も含めたバランスシートの導入について研究を進め、より分かりやすい行政となるよう情報提供に努めていきます。

バランスシートについての詳しくは、市役所一階の市政情報コーナーや市のホームページでご覧いただけます。

問い合わせは市役所財政課（☎㉝7830）へ。

借方	
〔資産の部〕	
1．有形固定資産	
(1)総務費	44億4,520万4千円
(2)民生費	19億1,954万5千円
(3)衛生費	23億5,708万1千円
(4)労働費	4,481万円
(5)農林水産業費	60億8,060万8千円
(6)商工費	16億1,896万6千円
(7)土木費	77億3,442万7千円
(8)消防費	7億4,113万6千円
(9)教育費	81億　4,886万円
(10)その他	1,133万4千円
計	331億　196万9千円
（うち土地	59億8,558万3千円）
有形固定資産合計	331億　196万9千円
2．投資等	
(1)投資及び出資金	31億5,629万6千円
(2)貸付金	2,089万5千円
(3)基金	
①特定目的基金	6億　5,640万円
②土地開発基金	2億4,797万4千円
③定額運用基金	0円
基金計	9億　437万4千円
④退職手当組合積立金	1億　589万1千円
投資等合計	41億 8,745万6千円
3．流動資産	
(1)現金・預金	
①財政調整基金	8,150万9千円
②減債基金	3億1,098万5千円
③歳計現金	4億8,674万2千円
現金・預金計	8億7,923万6千円
(2)未収金	
①地方税	5億6,658万2千円
②その他	2,244万円
未収金計	5億6,882万6千円
流動資産合計	14億4,806万2千円
資産合計	387億3,748万7千円

貸方	
〔負債の部〕	
1．固定負債	
(1)地方債	124億3,812万4千円
(2)債務負担行為	
①物件の購入等	0円
②債務保証又は損失補償	0円
債務負担行為計	0円
(3)退職給与引当金	28億1,657万3千円
固定負債合計	152億5,469万7千円
2．流動負債	
(1)翌年度償還予定額	12億 848万5千円
(2)翌年度繰上充用額	0円
流動負債合計	12億 848万5千円
負債合計	164億6,318万2千円
〔正味資産の部〕	
1．国庫支出金	31億5,930万9千円
2．都道府県支出金	59億7,251万2千円
3．一般財源等	131億4,248万4千円
正味資産合計	222億7,430万5千円
負債・正味資産合計	387億3,748万7千円

注）債務負担行為に関する情報
①物件の購入等に係るもの　90億503万4千円
②債務保証または損失補償に係るもの　118億7,629万9千円
③利子補給等に係るもの　0千円
※①と②には、その性質上、一部重複して計上される金額があります

㋐有形固定資産＝昭和44年度以降に市が建設した道路、学校、公民館などの固定資産です。土地は取得価格、それ以外は種類に応じ減価償却しています。
㋑投資等＝関係団体への出資金や使途が決まっている基金（市の貯金）などです。
㋒流動資産＝必要な時にすぐ現金化できる基金や市税などの未収金です。
㋓固定負債＝市の借入金の現在高や市が支払いを約束している債務、職員の退職金として支払う義務のあるものです。
㋔流動負債＝市の借入金のうち、翌年度に支払う分です。
㋕正味資産＝市が形成した資産に対する財源で、国庫支出金、県支出金、一般財源等に分けて表示しています。

鴨川シネ倶楽部 定期上映会「ピンポン」
▷日時　11月30日（土）　午後2時と7時の2回　▷場所　市民会館　▷入場料（割引券で）高校生以上1,200円、中学生以下 800円　▷問い合わせ　鴨川シネ倶楽部事務局（☎㉝1131）